

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 スターツ出版株式会社

コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊地 修一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 松田 茂之

TEL 03-6202-0311

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,872	△13.1	61	△76.8	80	△71.7	55	△68.6
25年12月期第2四半期	2,155	4.3	266	59.1	284	59.2	176	25.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	28.88	—
25年12月期第2四半期	92.06	—

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年12月期第2四半期	3,829		3,204		83.7	1,668.98
25年12月期	3,696		3,002		81.2	1,563.94

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 3,204百万円 25年12月期 3,002百万円

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△8.5	260	△44.6	290	△41.7	180	△35.7	93.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	1,920,000 株	25年12月期	1,920,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	78 株	25年12月期	— 株
-----------	------	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	1,919,961 株	25年12月期2Q	1,920,000 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税により個人消費に弱い動きが見られたものの、各種政策の効果により雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社が属する出版業界におきましては、スマートフォンやタブレットPC等の普及により情報伝達手段の多様化が進み、紙メディアの市場は急速に、かつ連続的に縮小しております。このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という企業ビジョンを具現化する中期戦略に基づき、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3つの事業ドメインにおいて、経営資源の「選択と集中」を図るとともに、第1四半期累計期間より「ファンとの共創経営」を経営方針とし、BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）による業務効率の改善とCS（カスタマー・サティスファクション）への投資により、顧客満足度の向上に注力してまいりました。

このような営業活動の結果、当第2四半期累計期間の売上高は18億72百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益は61百万円（前年同期比76.8%減）、経常利益は80百万円（前年同期比71.7%減）、四半期純利益は55百万円（前年同期比68.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、当第2四半期会計期間末現在で200万人超の会員数を有する女性向けウェブサイト「オズモール」の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、「東京女子の恋とキレイを応援！」をコンセプトに独自基準で厳選したビューティーサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。当第2四半期累計期間においては、新サービスの拡充や「観劇×レストラン予約」などの体験型イベントと組み合わせたオリジナルセットプランの提供、更なる利用者の増加が見込まれるスマートフォンサイトやアプリの機能の拡充などを積極的に行っております。「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向け情報誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディア展開とオリジナルイベントを組み合わせたソリューションビジネスを展開しております。しかし、広告売上につきましては、景気の回復にともなう広告環境の変化により、広告主の投稿においてテレビ等のマスメディアへのシフトが顕著となり、前年同期と比較しますと減少しております。また、紙メディアの販売売上につきましては、消費者のスマートフォン等の他メディアへの移行による市場縮小の影響もあり、前年同期と比較しますと減少しております。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は13億15百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は24百万円（前年同期比89.8%減）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。ターゲット別小説投稿サイトにおきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」と20代から40代の女性向けの小説投稿サイト「Berry's cafe」を運営しております。当第2四半期累計期間におきましては、両サイトともにスマートフォンアプリのダウンロード数とPV数の増加により、広告売上が順調に増加しております。書籍の販売におきましては主力商品である「ケータイ小説文庫」シリーズが安定的な支持を得ており、市場全体が縮小するなかで売上は堅調に推移しております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は3億48百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は62百万円（前年同期比971.1%増）となりました。

<地域密着ドメイン>

地域密着ドメインにおきましては、地域に密着して信頼の輪を広げ、地域の活性化に貢献することを事業の目的とし、地域密着型フリーペーパー「アエルデ」の広告掲載営業活動と企業の販促物の制作請負を行う事業を継続的に行なっております。「アエルデ」においては、5月に発行エリアの見直しにより経営資源の集約を行ないましたが、紙クーポン広告市場の縮小とスマートフォンの普及による他社の予約サイトとの競争激化により前年同期と比較しますと売上は減少しております。

このような営業活動の結果、地域密着ドメインの売上高は2億8百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益は11百万円（前年同期比68.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比べ1億32百万円増加し、38億29百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が1億69百万円増加した一方で、売掛金が3億55百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ1億87百万円減少し、29億97百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産が3億6百万円増加したことなどにより、前事業年度末と比べると3億20百万円増加し、8億31百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ68百万円減少し、6億25百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が1億7百万円、買掛金が48百万円、未払金が26百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると1億72百万円減少し、4億89百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が1億4百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べると1億3百万円増加し、1億35百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べると2億1百万円増加し、32億4百万円となりました。これは主に、その他有価証券等評価差額金が2億3百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億69百万円増加し、11億1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億85百万円(前年同四半期の得られた資金は3億77百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益を80百万円計上、減価償却費を53百万円計上し、売上債権が3億55百万円減少しましたが、一方で仕入債務が48百万円減少し、法人税等の支払額も1億25百万円発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、58百万円(前年同四半期の使用した資金は8億77百万円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が53百万円があった事によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は57百万円(前年同四半期の使用した資金は57百万円)となりました。これは主に前事業年度決算の剰余金処分である配当金の支払いによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年8月6日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に掲載した数値を記載しております。詳しくは上述の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,468	1,101,865
売掛金	1,418,530	1,062,641
製品	40,057	30,161
仕掛品	19,897	18,518
前払費用	14,060	14,799
関係会社預け金	800,000	800,000
繰延税金資産	43,165	39,934
その他	5,241	8,161
返品債権特別勘定	△83,892	△75,344
貸倒引当金	△4,318	△3,146
流動資産合計	3,185,210	2,997,590
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	23,730	22,213
工具、器具及び備品(純額)	23,150	21,317
有形固定資産合計	46,880	43,530
無形固定資産		
商標権	4,725	4,352
ソフトウェア	260,828	278,204
電話加入権	2,376	2,376
無形固定資産合計	267,929	284,933
投資その他の資産		
関係会社株式	30,000	-
親会社株式	-	349,809
投資有価証券	55,675	52,647
差入保証金	90,190	90,190
繰延税金資産	10,685	-
その他	10,067	10,632
投資その他の資産合計	196,619	503,280
固定資産合計	511,429	831,744
資産合計	3,696,639	3,829,335

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,608	181,355
未払金	60,704	34,375
未払費用	19,720	28,660
未払法人税等	139,355	31,972
未払事業所税	3,760	1,842
未払消費税等	18,949	14,621
前受金	6,042	13,942
預り金	35,750	38,090
賞与引当金	19,000	19,500
返品調整引当金	88,651	86,169
ポイント引当金	39,898	38,855
流動負債合計	661,442	489,385
固定負債		
退職給付引当金	32,428	30,742
繰延税金負債	-	104,894
固定負債合計	32,428	135,637
負債合計	693,870	625,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	1,913,683	1,911,533
自己株式	-	△189
株主資本合計	2,990,683	2,988,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,085	215,968
評価・換算差額等合計	12,085	215,968
純資産合計	3,002,768	3,204,312
負債純資産合計	3,696,639	3,829,335

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,155,866	1,872,413
売上原価	1,386,695	1,281,872
売上総利益	769,171	590,540
返品調整引当金戻入額	92,549	88,651
返品調整引当金繰入額	104,040	86,169
差引売上総利益	757,680	593,022
販売費及び一般管理費	491,333	531,107
営業利益	266,347	61,914
営業外収益		
受取利息	2,804	4,037
受取配当金	8,327	8,392
雑収入	4,790	5,484
その他	2,146	644
営業外収益合計	18,068	18,558
営業外費用		
雑損失	80	-
営業外費用合計	80	-
経常利益	284,335	80,473
税引前四半期純利益	284,335	80,473
法人税、住民税及び事業税	111,210	19,109
法人税等調整額	△3,645	5,913
法人税等合計	107,564	25,022
四半期純利益	176,770	55,450

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	284,335	80,473
減価償却費	52,897	53,078
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,013	△1,172
賞与引当金の増減額(△は減少)	900	500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,538	△1,685
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	△1,551	△8,548
返品調整引当金の増減額(△は減少)	11,490	△2,482
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△8,505	△1,043
受取利息及び受取配当金	△11,132	△12,429
売上債権の増減額(△は増加)	121,644	355,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,124	11,275
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,303	△3,658
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,086	△48,253
未払金の増減額(△は減少)	△2,350	△35,638
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,776	△4,327
その他の負債の増減額(△は減少)	4,298	17,262
その他	190	△1,270
小計	414,622	397,967
利息及び配当金の受取額	11,132	12,429
法人税等の支払額	△48,362	△125,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,392	285,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△555	△3,895
無形固定資産の取得による支出	△75,763	△53,552
関係会社預け金の預け入れによる支出	△800,000	-
出資金の回収による収入	100	-
差入保証金の差入による支出	△68	-
その他	△1,207	△565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877,494	△58,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△57,852	△57,574
自己株式の取得による支出	-	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,852	△57,764
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△557,954	169,396
現金及び現金同等物の期首残高	1,436,610	932,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	878,655	1,101,865

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	1,544,346	348,269	263,250	2,155,866	—	2,155,866
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,544,346	348,269	263,250	2,155,866	—	2,155,866
セグメント別営 業利益	239,509	5,879	37,799	283,189	△16,841	266,347

(注) セグメント利益の調整額△16,841千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	1,315,607	348,535	208,269	1,872,413	—	1,872,413
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,315,607	348,535	208,269	1,872,413	—	1,872,413
セグメント別営 業利益	24,524	62,974	11,977	99,476	△37,561	61,914

(注) セグメント利益の調整額△37,561千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。